

有意水準

[英] *level of significance*

仮説の検定の手続きで問題となるのは、棄却域 R と採択域 A との境界をどの様に設定するかということであるが、ここで通常採られる方法は、第1種の誤りをある一定の大きさ（確率）に決めることである。この大きさとしては0.05 或いは0.01 が用いられることが多い。これを有意水準 *level of significance* といい、 α で表す。

有意水準 $\alpha = 0.05$ or 0.01